

安全データシート
ブライトテクトクリーナー

発行年月：2023年12月

1. 化学品及び会社情報

製品名	ブライトテクトクリーナー
化学品の名称	過酸化水素3%液
会社名	株式会社吉田製作所
住所	東京都墨田区江東橋 1 丁目 3 番 6 号
電話番号	03-3635-1686 (CS部)
FAX番号	03-3635-8937 (CS部)

推奨用途及び使用の制限 歯科用ユニット給水管路用洗浄液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分2(呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分2(呼吸器系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2

区分の記載がない危険有害性項目については、区分に該当しない/分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】	ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急措置】	気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 直ちに医師に連絡すること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】	施錠して保管すること。
【廃棄】	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	過酸化水素
別名:	過酸化水素水
化学式:	H ₂ O ₂
化学特性(化学式又は構造式):	HO-OH
CAS番号:	7722-84-1
官報公示整理番号 (化審法・安衛法):	(1)-419
分類に寄与する不純物及び安定化添加物:	添加物:フェナセチン、エタノール
濃度又は濃度範囲:	2.5~3.5w/v%

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
目に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:	(60%水溶液の情報) (吸入)咽頭痛、咳、めまい、頭痛、吐き気、息切れ。 (皮膚)腐食性。白斑、発赤、皮膚熱傷、痛み。 (眼)腐食性。発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。 (誤飲)咽頭痛、腹痛、腹部膨満、吐き気、嘔吐。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項、医師に対する特別な注意事項:	救助者は適切な保護具(手袋、眼鏡など)を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	水。ただし多量の有機溶剤や油類が混在する場合は、粉末、泡、二酸化炭素などの消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の危険有害性:	過酸化水素の分解によって発生する酸素ガスにより、可燃物の燃焼を加速させるおそれがある。 熱で容器が破裂するおそれがある
特有の消火方法:	火災の周辺にある過酸化水素の入った容器は、速やかに安全な場所に移動させる。移動できない場合は散水冷却する。 消火後も大量の水を用いて容器を十分に冷却する。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	漏出区域には関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏出区域は漏出物を回収するまで十分に換気する。
環境に対する注意事項:	漏出物が河川などに排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合には、大量の水で十分に希釈して洗い流す。 多量の場合には、土砂などで流れを止めて漏出液の拡散を防止し、自然分解させた後、大量の水で十分に希釈し、廃棄上の注意に従って処分する。
二次災害の防止策:	可燃物(木、紙、油など)は漏出物から隔離する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策:** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気:** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、換気に注意する。
- 安全取扱い注意事項:** ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない。
眼に入れたり、皮膚に触れたりしないように取り扱う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後は手をよく洗う。
- 接触回避:** 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

- 技術的対策:** 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 混触危険物質:** 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 安全な保管条件:** 風通しの良い場所に保管し、過酸化水素が高温にならないようにする。
直射日光を避け、涼しい場所に保管する
- 安全な包装材料:** 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度:** 設定されていない。
- 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):**
- 日本産業衛生学会** 設定されていない。
- ACGIH** 過酸化水素 TLV-TWA: 1ppm (2001年版)
エタノール STEL 1000ppm (2009年版)
- 設備対策:** 排気設備や換気設備を設置する。
洗眼設備、シャワー、手洗い設備を設置する。
- 保護具**
- 呼吸器の保護具:** 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具:** 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具:** 適切な眼の保護具を着用すること。
化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。
- 衛生対策:** 眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态:**
- 形状:** 液体
- 色:** 無色澄明
- 臭い:** 無臭～わずかなオゾン臭
- 融点／凝固点** データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲:** データなし
- 可燃性:** 不燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界:** 不燃性
- 引火点:** 不燃性(それ自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガスと熱が発生し、支燃性を示す)
- 自然発火点:** 不燃性(それ自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガスと熱が発生し、支燃性を示す)
- 分解温度:** データなし
- pH:** 3.0～5.0
- 動粘性率:** データなし
- 溶解度:** 水と任意の割合で混ざる。
- 蒸気圧:** データなし

密度及び／又は相対密度: d20/20:約1.01
 相対ガス密度: データなし
 粒子特性: データなし
 その他のデータ(放射性, かさ密度, 燃焼持続性): データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性: 常温では安定。
 異物(重金属、アルカリ、酸化されやすい有機物等)が混入しない限り安定である。

危険有害反応可能性: 様々の無機化合物を酸化し、有機化合物に対しても酸化作用がある。
 白金、銀、銅、鉄、クロム、マンガン等と接触すると、急激に分解して酸素ガス及び熱を発生し、密閉容器では破裂することがある。
 分解すると水と酸素ガスになり熱を発生する。加熱すると分解を促進する。酸化性あり。

避けるべき条件: 熱、日光、混触危険物質との接触。
 混触危険物質: 金属、強塩基性物質、可燃性物質、還元性物質
 危険有害な分解生成物: 分解すると酸素ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口): 区分4:CAS番号:7722-84-1(毒性値=805mg/kg 含有率=3% 出典:NITE) ATEmix=100 / ((3% / 805mg/kg))計算結果が²26833mg/kgのため、区分に該当しない。

急性毒性(経皮): 区分3:CAS番号:7722-84-1(毒性値=690mg/kg 含有率=3% 出典:NITE) ATEmix=100 / ((3% / 690mg/kg))計算結果が²23000mg/kgのため、区分に該当しない。

急性毒性(吸入:蒸気): ラット4h-LC₅₀=1,438ppm
 ATEmix=100 / ((3% / 1438ppm))計算結果が⁴47933ppmのため、区分5に該当。対象国危険有害性区分補正処理により区分5から区分に該当しないに変更。

皮膚腐食性/刺激性: 区分1:CAS番号:7722-84-1(含有率=3% 出典:NITE)×10の成分合計が30%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1:CAS番号:7722-84-1(含有率=3% 出典:NITE) 眼区分1の成分合計が3%であり、濃度限界(3%)以上のため、区分1に該当。

呼吸器感作性又は皮膚感作性: 情報なし
 生殖細胞変異原性: 情報なし
 発がん性: CAS番号:7722-84-1が3%≥1%のため、区分2に該当。
 生殖毒性: CAS番号:64-17-5が⁰0.489%≥0.3%のため、区分1Aに該当。
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 区分1:CAS番号:7722-84-1(含有率=3% 臓器=呼吸器 出典:NITE) CAS番号:7722-84-1が3%≥1%のため、区分2(呼吸器)に該当。
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): CAS番号:7722-84-1が3%≥1%のため、区分2(呼吸器)に該当。
 誤えん有害性: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性:	情報なし
水生環境急性有害性:	区分1:CAS番号:7722-84-1(含有率=3% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=2.3mg/l 毒性値(藻類)=0.85mg/l 出典:NITE) 方式2:加算式 $3\% / ((3\% / 0.85\text{mg/l}))$ 計算結果=計算値:0.85mg/l、分類区分:区分1、毒性乗率:1 加算法:(毒性乗率 × 10 × 区分1)+区分2が30%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。 方式3:加算法 (毒性乗率 × 10 × 区分1)+区分2が30%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。 方式1=分類できない、方式2=区分2、方式3=区分2より区分2に該当。
水生環境慢性有害性:	データ不足のため分類できない
残留性・分解性:	情報なし
生態蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	<p>国連番号: 該当しない</p> <p>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。転倒、衝撃を起こさないようにする。</p> <p>航空規制情報: 利用される航空会社にご確認ください。</p>
国内規制	<p>陸上規制情報: 特段の規定なし</p> <p>海上規制情報: 特段の規定なし</p> <p>航空規制情報: 利用される航空会社にご確認ください。</p>

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 名称表示危険/有害物: 過酸化水素、エタノール 名称通知危険/有害物: 過酸化水素、エタノール
労働基準法	疾病化学物質: 過酸化水素 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
化学物質管理促進(PRTR)法	該当しない
消防法	該当しない
化審法	優先評価化学物質: 過酸化水素
毒物及び劇物取締法	該当しない
水質汚濁防止法	指定物質 過酸化水素 法令番号 4
輸出貿易管理令	別表第1の16の項に該当

16. その他の情報

記載内容のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。